



© 原ゆたか / ポプラ社

世の中には不思議で分かりづらく、自然、科学、歴史など、詳しい先生に解き明かしてもらいましょう。

知りたい好奇心

桜と残雪。雪からは解けた水が少しずつ流れ出している



雪が道路の土や埃残す 川の水質変化で確認

今年の2月、甲府に大雪が降りました。今、家の周りからはすっかり雪は消えていますが、よく注意して見ると、雪捨て場になった日陰にまだ雪が残っているのを見つけたことができません。写真は甲府市の愛宕山近くの残雪です。桜の花が咲く季節になったのに、まだ解けきれずにいます。雪の塊からは少しずつ解けた水が流れ出し、それは近くの側溝に吸い込まれてい

ました。側溝を通じて、この水は近くの川に流れ込むことでしょう。

タイムカプセル

ところで、もう一度この写真を見てください。近づくと確かに白い雪があるので、遠くからでは本当に雪なのか、土なのか分かりません。これは、道路の雪が道路脇の土や土埃などと一緒に集められ、その後雪だけが解けて行ったからだと考えられます。雪は数カ月前の道路の土や土埃をこの場に残す、タイムカプセルのような働きをしたと考えることができます。

普段から観察を

この例が示すように、身近な場所の様子を長い間見続けることで、いつもと違うことが起きたときに、それがどのように身近な自然や環境を変えているかを知ることができます。何か起きたときに調べ始めるのではなく、普段から自分たちができる小さな観察を続けることが、とても貴重な記録になります。

雪がこのような働きをすることは、川の水の中にもはっきりと表れてきます。実際、今年の3月、大雪の3週間ほど後に笛吹川支流の重川の水を、バックテストなどを使って調べたところ、水の汚れ具合を示すCODが、いつもより高めに出了た地点が多くありました。

川の水そのものは透明で、とてもきれいな見えます。雪の中に閉じ込められていた成分がじわじわと雪解け水と一緒に川に流れ込んできていることを覚えてください。雪解けのときに川の水質が悪くなることは、北海道など雪の多い場所ではよく知ら

Yamanashiみずネットでは、これまで10年以上、上県内の多くの地点で一般の方々と一緒に水質調査を続けています。重川の水質変化も、この活動に参加しているメンバーの働きでした。このような水質調査に関心がある方は左記のホームページを見てください。今年からの参加希望者を募集。中々、初心者向けの調査方法の講習会が5月に予定されています。

Yamanashiみずネットのアドレスは、<http://www.ymizumet.org/>
(山梨大大学院医学工学総合研究部国際流域環境研究センター) 生命環境学環境科学科兼任教授 風間ふたば